

『教職のスタートにあたって、私が伝えたいこと』

教職研修総括兼教育経営研修班班長 城間 盛市

今年の夏は、全国的に気象記録を塗り替える
 厳しい猛暑が続いている。ここ沖縄でも、最近
 の台風の発生場所が変化しているように思う。
 これまではフィリピン海域や小笠原諸島近海で
 発生し、約一週間ほどかけて、ゆっくり発達し
 ながら沖縄に接近した台風が、ここ数年は沖縄
 近海で発生し猛烈に発達し、被害をもたらして
 いる。本土では、ゲリラ豪雨等の異常現象も頻
 発している。私には今、まさに地球が怒ってい
 るように感じられる。

ところで、教育センター勤務も2年目に入っ
 た。初任者研修や5年経験者研修、10年経験者
 研修等の教職員研修を総括する立場で仕事をさ
 せてもらっている。特に最難関の教員採用試験
 を突破し、自分の夢をかなえ、希望に満ちた表
 情で初任者研修に真摯に取り組んでいる初任者
 をそばから見ながら、25年前の自分のことが
 走馬灯のように頭によぎる。教員採用試験突破
 を目指し、不安と戦いながら、寝食を忘れるほ
 ど必死に猛勉強したことがつい昨日のように思
 い出される。

このような経験から、初任者研修の場におい
 て、初任者の皆さんに次のことを話した。

『今、ここにいる皆さんは、憧れの職業を勝ち
 取った優秀な仲間たちです。皆さんの大多数は、
 臨時的任用教諭を何年も続けながら、精神的に
 も苦しい試験勉強に打ち勝ち、10倍以上の難関
 を突破した勝利者です。』

ところで、実際、本務採用された今、生徒指
 導や教科指導、HR 経営等で現実の厳しさに直

面し、苦しみ、悩み、自信喪失に見舞われ、今
 後の教職生活に不安を感じている者も少なから
 ずいるのではないのでしょうか。そのような時こ
 そ、苦しかった試験勉強のことを思い出してほ
 しい。また、試験を突破できずに、来年度の採
 用試験に向けて頑張っている多くの仲間がいる
 ことを忘れないでほしい。教員をあきらめ、別
 の道を進もうとしている仲間がいることを忘れ
 ないでほしい。このことを心に刻んでいけば、
 これから先、苦しいことも確実に乗り越えるこ
 とができると思う。』私が採用された25年前と
 今日とでは教育環境は大きく異なる。例えば、
 教員が対応すべき課題が多すぎることである。
 少子化に伴う核家族化の進展により、親の過保
 護・過干渉、地域社会の教育力の低下、IT化
 により携帯電話の普及やネットによるいじめ、
 モンスターペアレント対策等、教師の置かれて
 いる現状は厳しさを増している。このような時
 こそ、自分自身を奮い立たせる動機が必要と考
 える。その動機づけの一つの手段として、私は
 先のことを新規採用教員の皆さんに伝えてい
 かなければならないと思う。

初任者の皆さんにとって、1年の長きに渡る
 研修も半ばを過ぎようとしている。去る8月に
 実施された2泊3日の宿泊研修の初日の余興大
 会に見せたバイタリティーあふれる姿に、沖縄
 の教育界を背負っていく頼もしさが感じ取れ
 た。共に、沖縄の児童・生徒のために日々邁進
 していこうではないか。

***** もくじ *****

● 教職のスタートにあたって、私が伝えたいこと	-1-
● 平成22年度調査研究事業「学校の教育力向上を支援するセンターを目指して」	-2-
● 教育情報共有システム 小・中学校デジタル教材一覧表・ICTを活用した小学校外国語活動講座	-3-
● 平成22年度 障害児教育相談事例検討会・情報交換会・特別支援学校学校見学・体験入学のお知らせ	-4-
● 「出前講座」本格的にスタート・おもしろ科学教室	-5-
● 家庭学習の定着を図る取組・方策・県立学校教頭研修会	-6-
● 産業教育の活性を考える・産業教育班よりお知らせ	-7-
● 教育実践報告会のお知らせ・平成23年度長期研修員募集	-8-

平成22年度調査研究事業 「学校の教育力向上を支援するセンターを目指して」

本教育センターには、本県の喫緊の教育課題である「児童生徒の学力の向上」について、実践的な研究を行うことが求められています。

これに応えるべく今年度は、昨年度に引き続き、調査研究事業の統一テーマを「確かな学力を育成する取組」とし、班内共同研究の方針も「(1) 学校支援を踏まえた出前講座の開発や充実を図る研究を行う。(2) 連携校の授業改善や校務支援に関わる研究を行う。」とすることで、センター全体の研究のベクトルをそろえました。昨年度の調査研究事業においては、「学校力」や「教師力」「授業力」について共通理解をはかり、これを高めるために所員学習会を実施しました。また「出前講座活用ガイド」の作成や「学校支援プログラム」の作成、特別講演会の実施においても絶えず「学校力」と「教師力」「授業力」の向上を押さえた取組を行いました。これを踏まえ今年度の調査研究事業は、昨年度の取組の成果をもとに学校の教育力向上を目指す取組を行っています。取組の柱は、「出前講座等の充実」、「学校支援プログラム」、「特別講演会等の実施」で学校現場への積極的な支援を目指した取組となっています。

まず、「出前講座の充実」については、平成21年度刊行した「出前講座活用ガイド」の積極的な周知により、学校現場から多くの依頼があり、平成22年9月1日現在437回の実施があります。次に、「学校支援プログラム」は、児童生徒の「確かな学力」の育成を目指し、連携校の授業力向上のために校内研修の充実などの支援を行い、学校の教育力の向上を目指して取り組んでいます。さらに、「特別講演会等の実施」は、授業実践のあり方、授業改善等や学校の組織的取組の紹介など、現場の先生方のニーズに即した情報発信の機会であると共に、本県の教育関係者が「確かな学力の育成」について方策を考える機会になるように取り組み、これまでに3回の特別講演会を実施しています。

このように、いずれの取組も本教育センターの調査研究事業統一テーマである「確かな学力の育成」を目指すものであり、それらの取組により「確かな学力の育成」に不可欠である「学校の教育力の向上」を目指した学校支援を行ってまいります。

最後になりましたが、検証の場を与えていただきました連携校には改めて感謝申し上げますとともに、学校現場にとって有益な研究となるよう取り組んでいく所存でございます。各学校及び教育関係機関の皆様の御理解と御協力を頂き、これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



出前講座「リーダー研修」中城中学校



出前講座「マネジメント研修」島袋中学校



出前講座「マネジメント研修」比屋根小学校

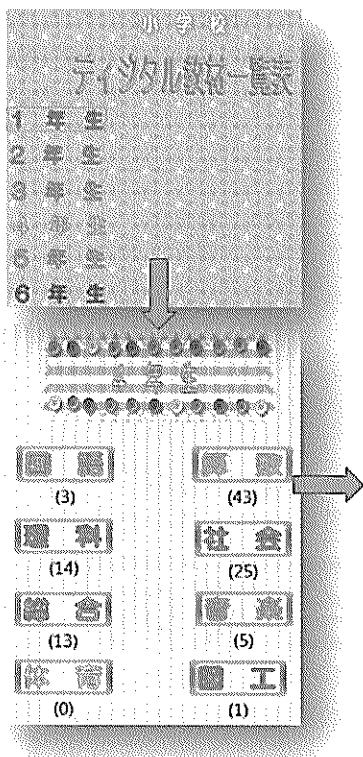
教育情報共有システム 小・中学校デジタル教材一覧表

教育情報共有システムには、各教員が作成した指導案、学習教材、素材等4万点以上の教育用コンテンツが蓄積されており、ICTを活用した「わかる授業」の支援を図っております。

本システム内のコンテンツをうまく学校現場で活用していただくために、小・中学校の「デジタル教材一覧表」を作成いたしました。

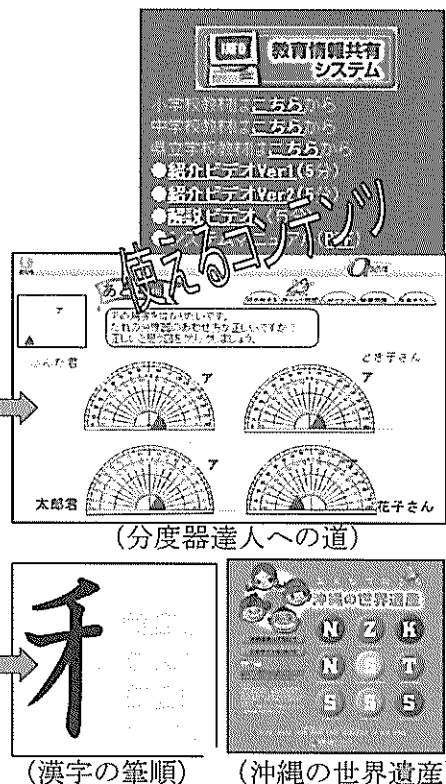
一覧表は、学年別→教科別→指導単元別の構成で作成されており、どの単元で、どのコンテンツを活用したら効果的かを一覧形式で利用することができます。また、本システム内コンテンツの活用方法に関するビデオもご用意しております。

沖縄県立総合教育センター <http://www.edu-c.open.ed.jp/>



学年	教科	指導単元	デジタル教材名	ソフトの概要	学校得意
1年生	国語	1-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	
2年生	国語	2-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	
3年生	国語	3-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	
4年生	国語	4-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	
5年生	国語	5-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	
6年生	国語	6-1	国語の基礎	国語の基礎を学ぶための教材。	

(単元別リスト) 授業場面での活用



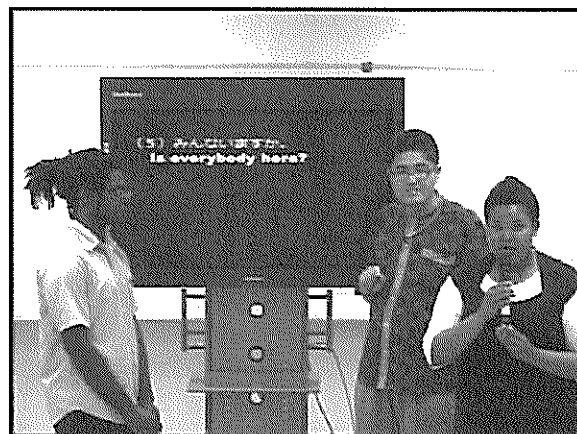
登録コンテンツ数
4万点以上!

ICTを活用した小学校外国語活動講座

平成21年度よりスタートいたしました本講座は、新学習指導要領により平成23年度から実施される小学校外国語活動に向け、全県の小学校を対象に平成21年度は480名、平成22年度(実施中)は全409名の教諭が受講されています。

本講座の特徴として、インターネット上(沖縄グローバルエデュケーション・ネットワークシステム)で遠隔研修が実施され、あらかじめ収録されたVOD(ビデオ・オンデマンド)を視聴することにより、受講者の場所や時間に制約のないゆとりのある受講が可能となります。

引き続き、平成23年度も小学校外国語活動に必要な教師の資質向上に向け講座を実施致します。



講座の様子

平成22年度受講状況

地区	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山
受講人数	68	120	77	75	27	42

平成22年度 障害児教育相談事例検討会・情報交換会

— 発達障害者支援センター等関係機関との連携 —

本センター特別支援教育班における教育相談事業には、所員及び嘱託医が対応する来所教育相談事業、就学相談員（特別支援学校 15 校の教諭を委嘱）が対応を行う障害児就学相談事業、地域を巡回し相談を行う障害児巡回相談事業がある。

特別支援教育が本格的にはじまった平成 19 年度からは、どの事業も、相談件数は年々増加傾向を示している。また、相談内容も「学校教育」や「保護者支援」「関係機関との連携方法」等多様化しており、相談者のニーズに応じた支援が求められてきている。特に、学校教育に関する相談では、幼児児童生徒の個々に応じた具体的な対応に関する内容が多いことから、学校支援体制についてのアドバイスや、地域の学校からの相談者へコンサルテーションを意識した取組が早急に必要となっている。

このような現状を踏まえ、今年度本センターでは、多岐にわたる相談内容への対応と学校コンサルテーションを旨とした取組を行うため、関係機関とタイアップした事例検討会を定期的に開催し、障害児就学相談員を含めた相談担当者の資質の向上と関係機関とのネットワークの円滑な構築を目的に「障害児相談事業事例検討会」を立ち上げ、5、6、9月に開催している。

障害児就学相談員等参加者からは、「事例を検討することで、相談員が抱えている相談対応へのシミュレーションとなり、相談に関する対応の向上に繋がった。」といった感想が聞かれるなど、ニーズに応じた教育相談への対応や関係機関との円滑な連携を図って行く上で、事例検討会の成果が確認できた。

今後の事例検討会予定

10月22日(金) 15:00～17:00 講演会

11、12、1、2、3月事例検討会・情報交換会予定

平成22年度特別支援学校

学校見学・体験入学のお知らせ

平成23年度の就学や転入学に向け、各特別支援学校では、自校の教育方針の周知や入学後の円滑な適応を図る目的で、体験入学をはじめ学校見学等を実施しております。障害のある子ども達の自立や社会参加を目指し、地域に開かれた学校として、各特別支援学校とも取り組んでいます。小中学校の関係者は、各特別支援学校にご連絡の上ご参加下さい。

☆ 体験入学

- ① 沖縄盲学校 小学部 平成 23 年 2 月 17 日 (木)
- 中学部 平成 22 年 9 月 29 日 (水)
- ② 沖縄ろう学校 連絡の上、随時
- ③ 名護特別支援学校 連絡の上、随時
- ④ 美咲特別支援学校

小学部 平成 23 年 2 月 18 日 (金)
平成 23 年 2 月 21 日 (月)

⑤ 大平特別支援学校

小学部 平成 22 年 10 月 13 日 (水)
平成 22 年 10 月 19 日 (月)
平成 22 年 11 月 12 日 (金)
平成 22 年 11 月 19 日 (金)

中学部 平成 22 年 10 月 14 日 (木)
平成 22 年 10 月 21 日 (木)
平成 22 年 11 月 12 日 (金)
平成 22 年 11 月 16 日 (火)

高等部 平成 22 年 10 月 21 日 (木)
平成 22 年 11 月 16 日 (火)

- ⑥ 島尻特別支援学校 連絡の上、随時
- ⑦ 西崎特別支援学校 連絡の上、随時
- ⑧ 泡瀬特別支援学校 連絡の上、随時
- ⑨ 鏡が丘特別支援学校 連絡の上、随時
- ⑩ 那覇特別支援学校 連絡の上、随時



障害児教育相談事例検討会・情報交換会

”講演会案内”

教育相談担当者の資質の向上に向けて、子どもの発達保障を踏まえた教育実践や他県における療育施設での早期療育の取組について学び、沖縄県における特別支援教育の推進及び早期の発達障害児支援システムの充実を図る目的で、下記の日程で講演会を実施します。早期の段階における発達障害児への支援や子どもの発達とは何か、について知ることができると思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 程

- 1 日時
平成 22 年 10 月 22 日 (金)
15:00 ～ 17:00
- 2 場所
県立総合教育センター
- 3 講師
米衛 政光氏
(子ども家庭支援センターみらい園長)

出前講座の充実に向けて

～ 学校現場へ出かけるセンター ～

平成 21 年度 10 月より、本総合教育センターでは学校現場等への支援として教科・領域に関する講座や学校組織マネジメント等に関する講座を行い、教師の授業力向上及び組織としての学校力の向上に資することを目的に出前講座事業を実施しています。平成 22 年度は 4 月から本格的にスタートし、9 月 1 日現在で延べ 160 校（小学校 88 校、中学校 48 校、高等学校 21 校、特別支援学校 3 校）、437 回の講座を実施しています。

小学校・中学校では、名画を鑑賞し、教師や児童がそれぞれ感じたことを自分の言葉で話し、表現する力を育む「対話を取り入れた名画鑑賞の授業」の講座や、プレゼンテーション活動を取り入れた授業の提案をする「言語活動の充実を図る授業の提案」の講座などがあります。

また全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、県内の小・中学生の実態を把握した上で、家庭学習の定着を図る為に行われている県内外の取組などについて紹介する、保護者（PTA）や教諭を対象にした「家庭学習の定着を図る取組・方策」

の講座や併せて「記憶につながるノート作り」講座があります。高等学校では自己肯定感を高める人間関係づくりを提案する「予防的・開発的教育相談の工夫」の講座や普通高校の教師を対象に障害のある児童生徒への支援のあり方についての講座を実施しています。

今後は各教科毎の「授業づくり」について校内研修等における発表に関する支援や助言等についても学校現場へ出かけ支援をしていきたいと考えています。また日程調整次第では複数の講座を組み合わせ支援する体制、例えば、教科の「授業づくり」の講座と ICT を活用した内容の講座を組み合わせで行うことも可能で教師の授業力向上に繋がります。

出前講座の詳細は下記の沖縄総合教育センターのホームページか、各学校等に配付されている「出前講座活用ガイド」（A5 版）をご覧ください。またお電話による問い合わせも受付しております。

沖縄県立総合教育センター

TEL 098-933-7513（理科研修班）

FAX 098-933-3233

URL <http://www.edu-c.open.jp/>

おもしろ科学教室

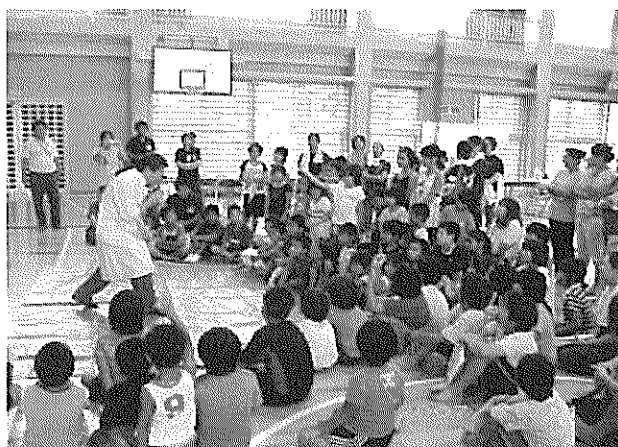
～ 伊平屋村，伊是名村，金武町，教育センター ～

本教室は、小・中学生の親子を対象とし、子ども達に多様な体験活動の場や機会を提供するとともに科学の面白さや楽しさ、自然を大切にする心を育むことを目的として、毎年市町村教育委員会の協力のもとで実施しています。今年度は、伊平屋村（6/13:98 人）、伊是名村（6/20:177 人）、金武町（7/10:108 人）、教育センター（7/24:225 人）を会場に実施しました。また、12 月は八重瀬町で開催を予定しています。

各会場では、空気砲や液体窒素等の実験によるデモンストレーションに始まり、観察や実験、もの作りなど 12 のコーナーを設置しました。参加した保護者からは、「とても楽しかった。」

「液体窒素の実験が面白く、不思議だった。」「離島ではこういう機会が少ないので、できれば毎

年あるといいです。」など、たくさんの感想意見が寄せられました。

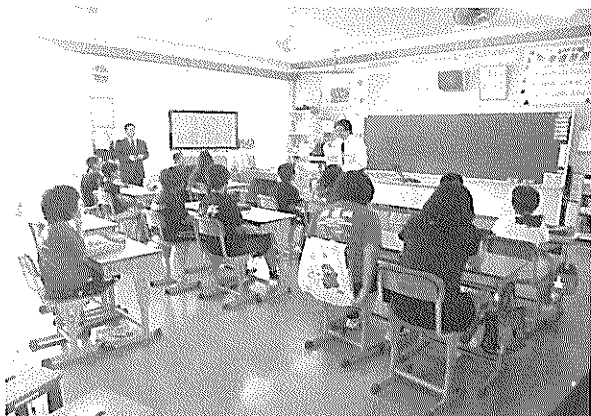


「おもしろ科学 in 伊是名」の会場

家庭学習の定着を図る取組・方策

本県児童・生徒の学力向上を図る上で、日々の生活習慣を見直し、家庭学習を定着させることが大変重要であります。出前講座「家庭学習の定着を図る取組・方策（講座番号28）」では、「全国学力・学習状況調査」等の結果の分析等から、本県の小・中学生の実態を把握するとともに、家庭学習の定着を図るための取組・方策について理解を深め、日々の実践に生かしていけるように努めています。

9月21日現在で、小学校17校、中学校22校で出前講座を実施しました。対象は職員向け17校、児童・生徒向け13校、保護者向け9校となっています。本講座を受講した方々から以下の感想等が出されました。



出前講座の様子（久米島小学校にて）



出前講座の様子（美東中学校にて）

- リレーノートや家庭学習ノートのまとめが上手な生徒の提示で意識が高まるなど、参考になる話を聴くことができて良かった。早速、学校で取り組んでいきたいと思う。（職員）
 - 授業とリンクさせる家庭学習の在り方について、少しずつ取り組みます。（職員）
 - 家庭でやるべき事が明確で、しかも明日からでも実践できそうな具体的な話でした。（保護者）
 - 当たり前のことを当たり前に行える、凡事徹底を家庭でも実践できるよう子どもと話し合っていきたいと思いました。（保護者）
- 本講座が、家庭学習の定着を図る講座として役立てるよう、さらなる充実に努めていきます。

県立学校教頭研修会

県立学校教頭研修会は年3回実施されております。昨年度までは全ての研修を本庁が主管しておりましたが、今年度より研修の充実を図る目的で、3回のうちの一回を本総合教育センターが引き受けることになりました。

例年1日の日程を2日間とし、経営的見識を高めるとともに、学校の諸課題を解決するために下記の内容で実施いたしました。

次年度以降、本県の教育課題をふまえながら、本研修会のアンケート等から副校長・教頭が望む研修内容の充実・発展に努めたいと考えております

○研修名 第2回県立学校教頭研修会

○日 時

・8月10日（火） 9:30～17:00

・8月11日（水） 9:30～15:00

○場 所 県立総合教育センター

○対 象 県立学校副校長・教頭（120名）

○内 容

〔1日目〕 講義【ストレスマネジメント】

講義【学校における危機管理】

講義・演習【教育法規】

〔2日目〕 講義【学校組織マネジメント概論】

講義・演習【学校組織マネジメント】

SWOT分析、戦略マップ作成



戦略マップ作成の様子

産業教育の活性を考える

産業教育班班長 田仲 康成

世の中が絶えず変化し、価値観が世につれ変わっていく。先行き不透明な時代になった感がある。

中教審の答申を受けて高等学校の学習指導要領改訂が平成21年3月に告示された。そのことが今後、工業教育にどう影響してくるのか見極める必要がある。

ここ最近、少子化や学力低下などの影響があつて特に県立の専門高校にあつては近年、再編・統合があり（名護商工高校や宮古総合実業高校など）今一度専門高校のあり方や方向性等を見直してみる良い時期でもある。

文部科学省の教科調査官、池守滋氏は「学校や生徒の実態に応じて必要な場合には、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るよう配慮すること」とあり各教科・科目の指導にあたっては①学習機会を設けること。②その単位数を標準単位数の限度を超えて増加してもよい。③学習の確実な定着を図るため学校設定科目等を履修させた後に、必修教科・科目を履修させることとある。学校裁量によって「多様性」に応じて対応できることは専門高校の学力の低下への歯止めをかけられるか、実効性のある取組が必要になる。

その為、高校入学後、基礎・基本をしっかりと学ばせることで「確かな学力」を育み、思考力・判断力・表現力を養うことで「生きる力」を育むことにつながる。それにはやはり校長を中心として組織マネジメントを生かした取組を図ることである。

専門高校の生徒たちのがんばりは日々新聞などで報告され、特にスポーツや文化面での活躍は全国レベルであり、今年開催された「ちゅら島総体2010」では南部工業高校のウェイトリフティングの団体・個人優勝そして写真甲子園での全国2連覇を果たした。めざましい高校生の活躍は専門高校に学ぶ生徒らに自信と勇気を与えた。

各専門高校の長所や短所をそれぞれ点検し、改善を図ることで将来の夢と展望が開けるような特色ある専門高校を育成できればと考える。

教育センター産業教育班としても先端技術教育を看板としながら、学校現場に寄り添い、支援するための出前講座や授業を実施し、教師の授業力向上や児童・生徒に確かな学力を育むための支援を、知恵を絞って図っていきたい。

産業教育班よりお知らせ

産業教育班では、小中学校に対しても施設見学を受け入れています。専門高校で行われている実習や先端機器の紹介をしています。総合的な学習の時間の授業の一貫や、遠足等での来所お待ちしております。詳しくは下記へ連絡下さい。



県立総合教育センター 産業教育班

TEL : 098-933-7527

FAX : 098-933-7563

担当：宮里

教育実践報告会のお知らせ

第4回「確かな学力を育成する取組」～県内小学校における実践報告会～

- 1 趣 旨 県内の小学校における「確かな学力の育成」に向けた、効果的・実践的な取組を共有することにより、これからの本県児童生徒の「確かな学力を育成」するための方策を考える機会とする。
- 2 主 催 沖縄県立総合教育センター
- 3 日 時 平成22年10月23日（土） 10:00～12:00
- 4 場 所 沖縄県立総合教育センター 多目的研修棟
- 5 対 象 県内教育関係者及び保護者
- 6 発表校
 - (1) 那覇市立城南小学校
「家庭と連携した家庭学習の工夫と生活リズムを整える取組」
 - (2) 北谷町立北谷第二小学校
「諸検査に基づく確かな児童理解とその対応」
「さよなら学習を通した補習指導」

※今後は、中学校の教育実践報告会を12月頃に予定しています。

【問合せ先】
県立総合教育センター 教科研修班 担当 津留
電 話 098-933-7595
F A X 098-933-7562

平成23年度長期研修員募集

研修目的

- (1) 本県の教育課題の解決・改善及び教科・領域等での指導方法の工夫・改善を図るための理論研究及び実践研究を行い、その成果を報告書等にまとめ学校現場へ還元する。
- (2) 長期研修講座やIT研修講座等をとおして教職員としての資質の向上を図り、学校現場における課題解決に積極的に対応できる人材の育成を目指し、学校教育の活性化と発展に資する。

研修期間

前期 平成23年4月1日（金）～平成23年9月30日（金）
後期 平成23年10月1日（土）～平成24年3月31日（土）
1年 平成23年4月1日（金）～平成24年3月31日（土）

申込み締切

小・中学校：市町村教育委員会へ申込み 平成22年11月12日（金）
高等学校：教育センターへ申込み 平成22年11月26日（金）

各学校へ送付した募集要項若しくは、沖縄県立総合教育センターHPをご覧ください。

<http://www.edu-c.open.ed.jp/>